

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	06	0401	交通安全環境整備事業

事業期間	☒ 単年度繰返	☐ 期間限定	[平成 年度 ～ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》
歩行者の安全確保

《事業開始の背景》
歩行者の安全確保のため、歩道の新設、バリアフリー化を実施している。現在は各地域、障がい者団体等の要望に基づき、それぞれのニーズに応える手法により事業を展開している。

《事業概要》
【24年度】 ・歩道整備事 558m（亀ヶ森1号線工事・若葉町天下田線工事・上町成田線工事・二枚橋駅前線工事）4 路線 ・電線共同溝 280m（上町成田線）1 路線 ・視覚障がい者誘導表示設置 100m（西大通り根岸線）1 路線 【25年度】 ・歩道整備 603m（若葉町天下田線工事・上町成田線（桜町）工事・上町成田線（豊沢町）工事）3 路線
市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》						
	項 目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
①	歩道整備率（H21～H27：全 5,629m）	%	目標	69	79	87
			実績	71	76	
②	視覚障がい者誘導表示設置率 （H21～H27：全1,684m）	%	目標	100	100	
			実績	100	100	
③			目標			
			実績			

分 野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	道路課	藤井 善也	574

	25 年度	当初(現計)	補 正	25 年度	26 年度
事 業 費	180,876				
財 源 内 訳					
国県支出金	113,999				
地方債	32,300				
その他					
一般財源	34,577				

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること
【24年度】 ・交通安全施設整備 6 路線 （上町成田線・亀ヶ森1号線・若葉町天下田線・西大通り根岸線・烏森北中線 ・二枚橋駅前線） 事業費 221,600千円
【25年度】 ・交通安全施設整備 9 路線 （上町成田線・吹張町滝ノ沢線・上小舟渡方八丁線・上台朝日橋線・烏森北中線 ・四日町山居線・駅前南線・若葉町天下田線・吹張町城内線） 事業費 180,876千円

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	02	06	0401	交通安全環境整備事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	2-6	快適で便利な道路網と公共交通体系の構築
目的	歩行者の安全確保				
対象	道路利用者、市民				
意図	安全に安心して通行できるようになる。				

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
【24年度】					
・歩道整備事業 558m（亀ヶ森1号線工事・若葉町天下田線工事・上町成田線工事・二枚橋駅前線工事） 4路線					
・電線共同溝 280m（上町成田線） 1路線					
・視覚障がい者誘導表示設置 100m（西大通り根岸線） 1路線					
【25年度】					
・歩道整備 603m（若葉町天下田線工事・上町成田線（桜町）工事・上町成田線（豊沢町）工事） 3路線					
市民参画の有無 [対象外]					
市民協働の形態		☐ 共催	☐ 実行委員会・協議会	☐ 事業協力・協定	
		☐ 後援・協賛	☐ 補助・助成	☐ 委託	

	活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	当該年度の歩道整備工事発注件数	件	計画	6	5	4
			実績	5	3	
②	当該年度視覚障がい者誘導表示設置工事発注件数	件	計画	1		
			実績	1		
③			計画			
			実績			
	成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
①	歩道整備率（H21～H27：全5,629m）	%	目標	69	79	87
			実績	71	76	
②	視覚障がい者誘導表示設置率（H21～H27：全1,684m）	%	目標	100	100	
			実績	100	100	
③			目標			
			実績			

要因分析	達成度	☐ 目標値より高い	☒ 概ね目標値どおり	☐ 目標値より低い
・工事発注件数は少なかったが、整備延長を確保することで概ね目標値を達成できた。				

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
・歩道整備促進について地区民、学校関係、区長からの要望や地区懇談会で提言が出されている。
・視覚障がい者誘導表示の設置について、視覚障がい者団体からの要望がある。

目的妥当性	公共関与の妥当性 ☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある ☐ 妥当でない	・公共施設である道路の整備であるため妥当である。
有効性	成果の向上余地 ☐ 向上余地がある ☒ 向上余地がない	・現況の道路敷地内で有効的に歩道整備、段差解消を実施しているため、予算内での更なる向上は困難である。 ・今後も歩道整備等の要望に応えるため、現在の取り組みを維持し、事業を継続する必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 ☐ 事業費の削減余地がある ☐ 人件費の削減余地がある ☒ どちらも削減余地がない	・歩道整備は、用地取得せずに現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して経費の節減に努めている。 ・積算、施工管理に係る事務経費の適正な遂行に必要な、最低限の事務を行っている。
公平性	受益と負担の適正化余地 ☐ 受益機会の見直し余地がある ☐ 費用負担の見直し余地がある ☒ 適正である	・市道の整備であり、地域住民に限らず不特定多数が利用することから、市が整備するものであるため受益者負担は公平、公正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括
・市道整備は道路管理者である市が行うものであり、現況道路敷地内を有効活用するなど工夫して歩道整備を進め、コスト縮減等に努めている。